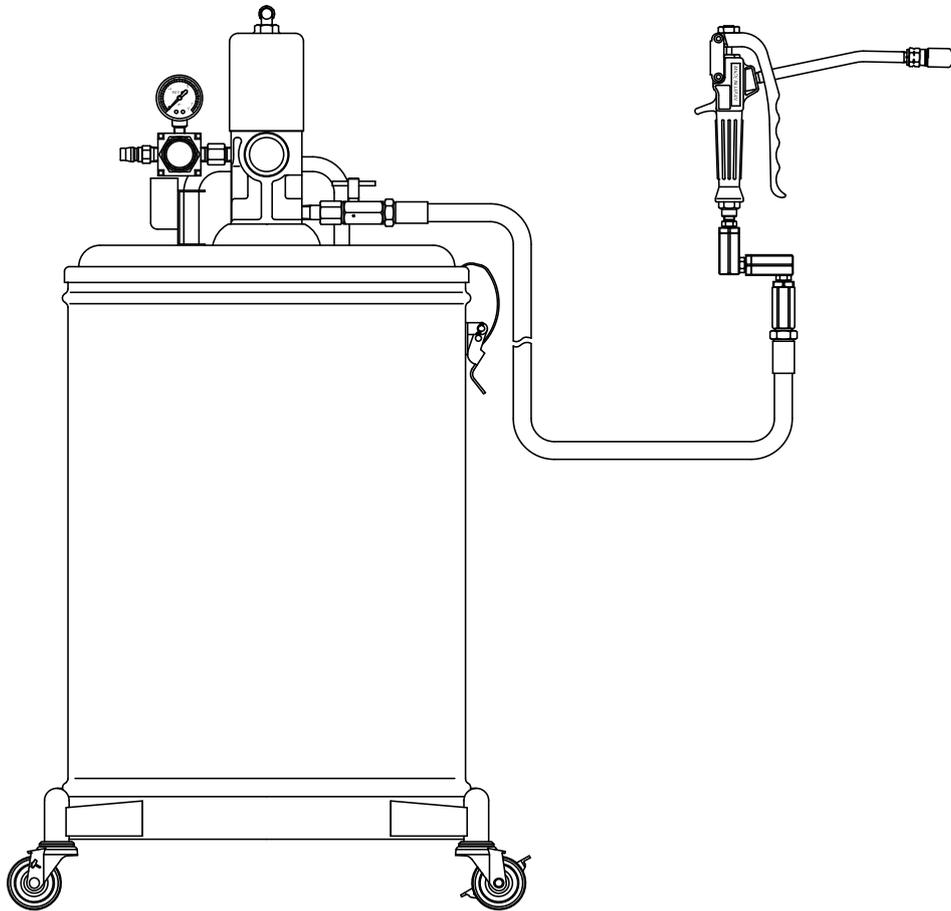


取扱説明書

グリーススルブリケーター
SKR-66 ITEM No.880877



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 使用目的

本製品は、機械・車両などのグリース給脂に不可欠な可搬タイプのルブリケーターです。オイル類の給油には使用できません。

ご使用になれるグリースは、通常の使用状況下ではNLGI No.1 程度までのグリースです。

また、極寒、低温の状況下で使用した場合には、吐出量が著しく低下いたします。

なお、シリコングリースにはご使用になれません。ご使用になる場合は、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えらるる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性を示しています。



注意 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、及び物的損害が発生する可能性を示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告



- 使用するグリースの種類によっては、発ガン物質が含まれているものがあります。グリースメーカーの取扱注意事項を熟読し、注意して取扱ってください。



- ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。引火・爆発の恐れがあります。

注意



- 本製品の最高供給エア圧力は0.7 MPaです。これ以上の圧力での使用は破損などによる人身事故・物的損害事故を招くことがあります。必ずエアレギュレーターによって0.7 MPa以下に調整して使用してください。



- 作業終了後及び夜間・休日は必ず本製品への供給エアを切って、ガンを開放にして内圧を抜いてください。供給エアを入れっぱなしで、パッキン・ホース類の損耗によりポンプが作動し施設を汚染させるなどの二次災害については使用者側の責任になります。



- 作業中及び移動を完了した機器は、必ずキャスターブレーキをロックさせて動かないようにしてください。メンテナンスなどで部品を交換する際、誤作動により指を挟むなどの事故を防止するために、必ず本製品へのエアの供給を停止してください。



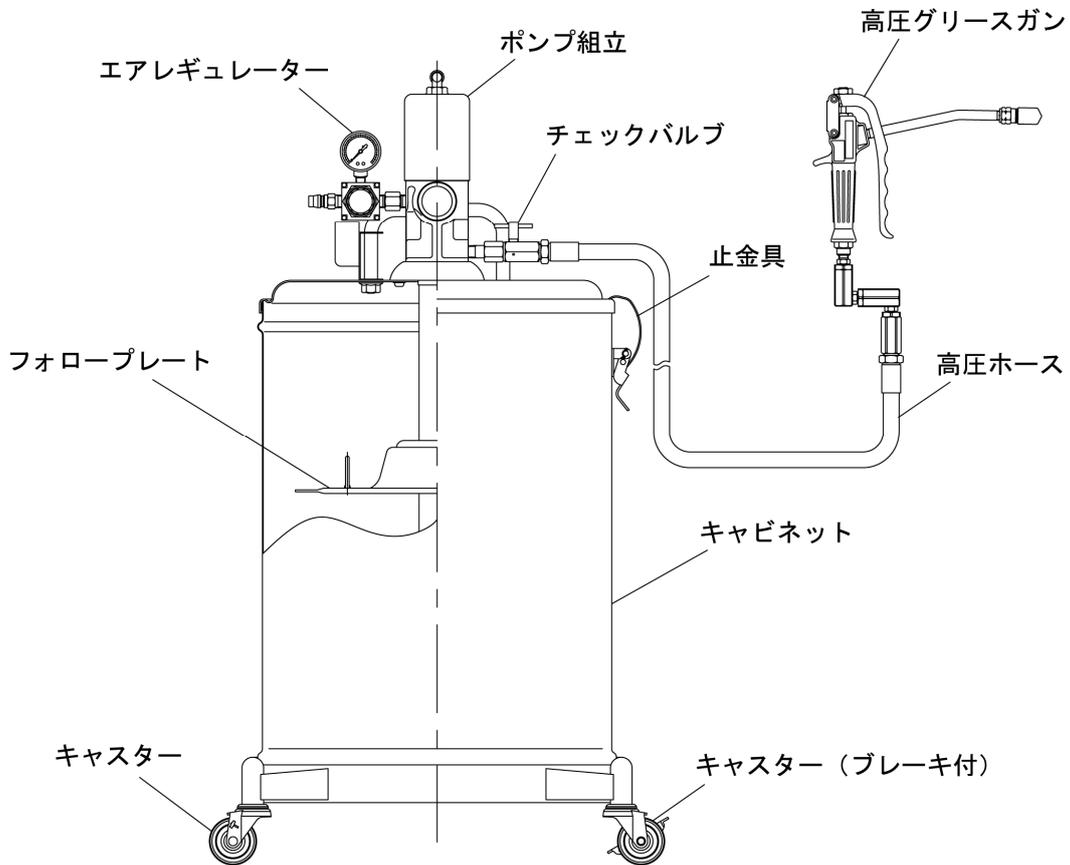
- 使用中、吐出口を人前に向けてガンレバーを操作することは、絶対に行わないでください。材料は高圧で吐出されます。人体に直接当たりますと、皮膚をキズつけたりする事故を起こす場合があります。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部名称	1
1.2 梱包内容	1
2. 使用前の準備	2
3. 使用方法	4
4. 保守・点検	
4.1 故障の点検とその対策	5
4.2 保守・点検	5
4.3 分解・組立	6
5. 部品分解図・パーツリスト	
5.1 880877 SKR-66 構成図	7
5.2 852764 ポンプ組立 分解図	7
5.3 851985 高圧グリースガン 分解図	8
6. 仕様	9
7. 製品保証登録シート	10
8. 保証規定	11

1. 各部の名称

1.1 各部名称



1.2 梱包内容

本製品は、段ボールケースに主機器と付属品が別個に梱包されています。

開梱後、直ちに輸送中の損傷がないか及び付属品の欠品がないか確認してください。

また、締結部及び配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増締めを行ってください。

2. 使用前の準備

⚠ 注意



- 配管の接続を行う際には、オネジ部にシール材(またはシールテープ)を塗布し緩まないよう確実に締込んでください。
シール材が配管内に入らないように注意してください。
(ただし、ホースユニオンに接続する場合は塗布しません。)
配管接続後、各部の漏れがないか、確認してください。

■ペール缶のセット(Fig.1)

- 1) キャビネット上部の3か所の止金具の爪をはね上げ外しますと、ポンプ組立と共に蓋が取外せます。
- 2) キャビネット内のフォロープレート取出してください。

<NOTE>

- ・ポンプ組立のサクシオンチューブ、フォロープレートなどに砂やゴミなどがつかないように、十分注意してください。

- 3) 新しいペール缶を用意し、蓋を取ってからキャビネット内の中心にセットしてください。
- 4) セットしたペール缶のグリース上面に、付属のフォロープレートをセットしてください。
<フォロープレートの向きは、(Fig.1)を参照してください。>
- 5) フォロープレートは、グリースの上に平らに置き、手でもみ込むようにしてプレート中央のパッキン部よりグリースが出る位まで下方に押付けてください。

<NOTE>

- ・ご購入後、はじめてフォロープレートを使用するときは、あらかじめプレート裏側のへこみ部分にグリースを詰めておく作業が早く簡単です。(Fig.2)

- 6) ポンプ組立のサクシオンチューブがフォロープレートの中央の穴を通るように注意しながらペール缶に差込み、キャビネットに蓋をし、3か所の止金具にてキャビネットと蓋を固定してください。

<NOTE>

- ・サクシオンチューブの先端でフォロープレートのパッキンにキズをつけないように注意してください。

■装置の組立

- 7) ポンプ吐出口に、付属の高圧ホース、高圧グリースガンを取付け、エア供給口にエアレギュレーターを取付けてください。接続部は、確実に締付けてください。(Fig.1)
- 8) 付属のエアチャック本体をエアホースに取付け、ホースバンドで固定してください。

Fig. 1

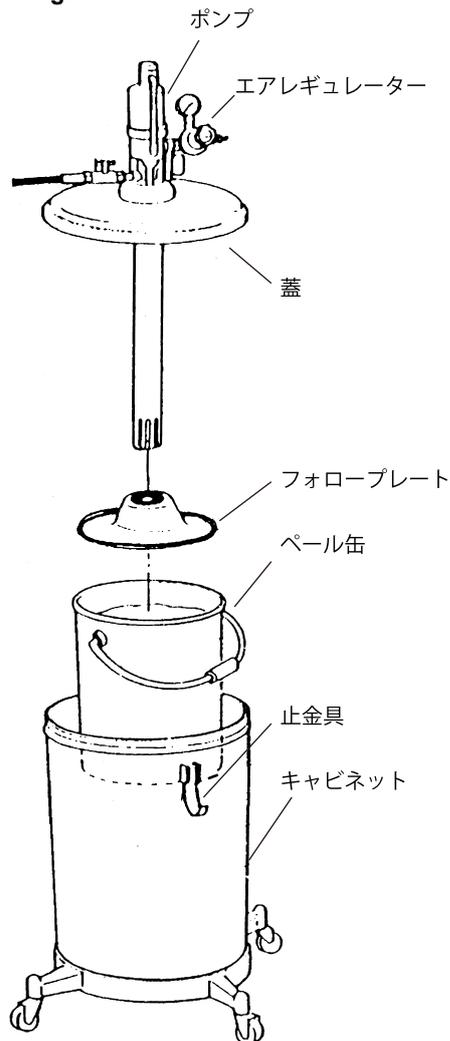
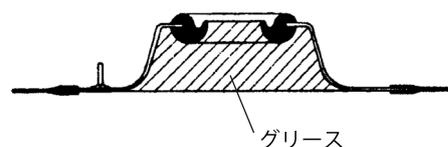


Fig. 2



■機器の運転

- 9) エアレギュレーターのつまみを左（反時計方向）に回し、緩めてからエアチャック本体を接続しエアを供給してください。

<NOTE>

- ・エアレギュレーターの使用により、ポンプへの供給エア圧力が調整でき、ポンプの無駄な動きを少なくすることができます。これにより作業性が良くなり、ポンプの寿命を長くすることができます。
- ・エアレギュレーターでのエア圧力調整方法は、つまみを右に回すと加圧（圧力計の指針が“0”から徐々に数値が上がる）され、左に回すと減圧（圧力計の指針が逆に“0”に戻る）されます。(Fig.3)
通常の使用では圧力計の指針が0.3~0.5 MPaの間を指している状態が適正です。

- 10) エアレギュレーターのつまみを右（時計方向）に少しずつ回していきますと、供給圧力が0.2~0.3 MPa位でポンプが作動します。ポンプはしばらく作動し、ポンプ・ホース内にグリースが充満して停止します。

- 11) 最初のグリースにはポンプ内のエアが混入し、良い状態ではありません。次の操作を行って完全な状態にしてください。
まずチェックバルブを開き、チェックバルブ下の小さな穴からエアの混入したグリースが吐出するまでポンプを作動させ、完全なグリースが吐出されましたら、チェックバルブを閉じてください。この際、グリースが手に触れないよう紙を敷き、吐出したグリースを処理してください。(Fig.4)

<NOTE>

- ・エアの混入したグリースは、白く濁っています。

- 12) 供給エア圧力を0.5~0.7 MPaにセットしてください。

Fig. 3

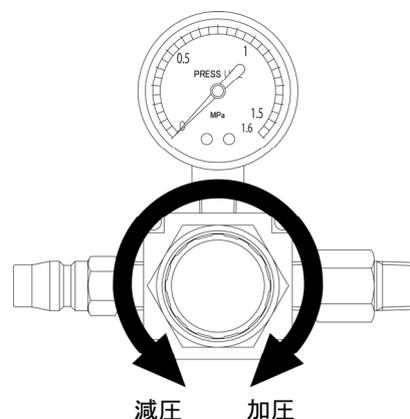
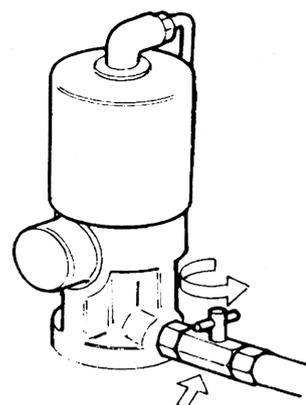


Fig. 4



⚠ 注意



- 本製品の最高使用エア圧は0.7 MPaです。これ以上の圧力での使用は破損などによる人身事故・物的損害事故を招くことがあります。絶対に0.7 MPa以上にセットしないでください。

3. 使用方法

⚠ 注意



- 供給エア圧力は、必ず 0.7 MPa 以下でご使用ください。元圧が 0.7 MPa 以上ある場合は、エアレギュレーターにて 0.7 MPa 以下に調整してください。



- 作業終了後や長時間使用しない場合は、必ず供給エアを切り、ポンプ・ホース・ガン内の内圧を抜いておいてください。



- 作業中及び移動を完了した機器は、必ずキャスターブレーキをロックさせて動かないようにしてください。(Fig.5)

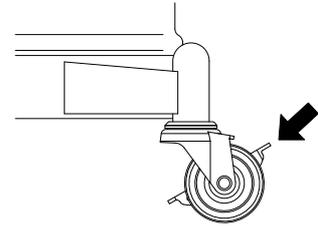


Fig. 5

- 1) 給脂しようとするグリースニップルをきれいに拭いてから、グリースガン先端のチャックをニップルに押し当て、なるべく垂直になるようチャッキングしてください。(Fig.6)
- 2) ガンレバーを引いてグリースを給脂してください。グリースが正常に注入されていますと、ニップル付近の溝または、隙間から古いグリースが押出されます。
- 3) 給脂が終わりましたら、ガンレバーを離してください。ポンプは自動的に停止します。
- 4) グリースガン先端のチャックを外してください。圧力がかかっていますので、いきなり引っ張りますとニップルの頭部を折る恐れがあります。
チャックを斜めに傾け内圧を抜くことにより簡単に外すことができます。(Fig.7)
- 5) 給脂作業終了後は必ず供給エアを切り、ホース内の圧力を抜いておいてください。
ポンプ・ホース内の圧力を抜くときは、本体受横のガン受けにグリースガンのチャックを差込み、ガンレバーを引いてください。(Fig.8)
- 6) ポンプが急に激しく作動し始めた場合は、ペール缶の中のグリースがないか、またはエアポケットが生じていることが考えられますので、給脂作業を中止して点検してください。
- 7) ペール缶のグリースがなくなった場合は、「■ペール缶のセット」の項を参照して新しいペール缶と交換してください。

Fig. 6

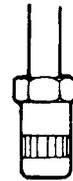


Fig. 7

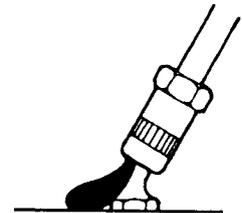
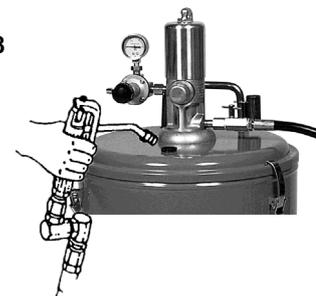


Fig. 8



4. 保守・点検

4.1 故障の点検とその対策

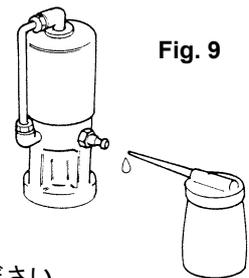
状 況	点 検 内 容	対 策
ポンプが作動しない	・ 供給エア圧は正常か ↓ (吐出側ホースを外して、ポンプを作動させてみる) →作動すればホース・ガンの詰まり →作動しなければポンプの故障	▶ 0.3~0.7 MPa の間で供給エアの調整 ▶ サービスを依頼してください
ポンプは作動するがグリースが出ない	・ ペール缶にグリースが入っているか ↓ ・ フォロープレートが正しくセットされているか ↓ ・ フートバルブの詰まり ↓ ・ 下ポンプの故障	▶ グリースの補充をするか、新しいペール缶と交換してください ▶ 点検・修正 ▶ 点検・清掃 ▶ サービスを依頼してください
グリースは出るが圧力・流量が少ない	・ 供給エア圧力低下・流量不足がないか ↓ ・ フートバルブの詰まり ↓ ・ 下ポンプの故障	▶ 調整してください ▶ 点検・清掃 ▶ サービスを依頼してください
(出口バルブを閉じても)ポンプが動いたまま止まらない	・ グリース用のホース、ガン・接続部に漏れはないか ↓ ・ ペール缶にグリースが入っているか ↓ ・ 下ポンプの故障	▶ 点検・交換してください ▶ グリースの補充をするか、新しいペール缶と交換してください ▶ 下ポンプサービスを依頼してください

4.2 保守・点検

■注油

ポンプのルブリケーションのため、10日に一回程度潤滑油の注入を行ってください。潤滑油の注入は以下のように行います。

- 1) エアレギュレーターをを外します。
- 2) エア供給口に右の図のように潤滑油を数滴（約0.5 mL）注入します。(Fig.9)
潤滑油はタービン油 1 種 ISO (VG-32) をご使用ください。



■点検

ホースは消耗品です。定期的に点検し、キズ・漏れなどがある場合は早めに交換してください。ポンプのパッキン類及び摺動部の部品は、摩耗します。1年に1回点検・交換が必要です。

⚠ 注意



- ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。引火・爆発の恐れがあります。



- 部品を洗浄の際、アルミ、銅合金、鉄などを腐食するような液体は使用しないでください。

4.3 分解・組立

⚠ 注意



- 本製品の分解・点検は、必ず供給エアを止めてガンまたは出口バルブを開き、本製品内の圧力を開放してから行ってください。

- ・ フートバルブ部にゴミなどが詰まった場合には、次の方法で分解し洗浄してください。
- ・ フートバルブ部以外の部分、エアモーター部の分解は、お買い上げの販売店、または 裏面記載のへご連絡ください。

■フートバルブ部の分解

- 1) ポンプ・ホース内の圧力を抜き、エアチャックと高圧ホースをポンプから取外してください。
- 2) ポンプを固定している本体受けのナベ小ネジをねじ戻してください。
ポンプを上にも引抜きますと、キャビネットから取外せます。(Fig.10)
- 3) ポンプの本体部をバイスに固定し、バルブアダプター組立にスパナ (36H) を掛け、チューブの穴にドライバーを差込んでチューブをねじ戻し外してください。(Fig.11)
- 4) バルブアダプター組立にスパナ (36H) を掛けてねじ戻していきますと、アウトチューブの中のサクシジョンチューブと一緒にねじ戻されて外れます。
下ポンプ全体を少し引離しますと、エアモーターとロッドを接続しているユニオンが出てきます。ピンを抜き、ねじ戻し取外しますと、エアモーターと下ポンプが分離されます。(Fig.12)
- 5) バイスにサクシジョンチューブのローレット部を加え直し、ナット部の割ピンを抜き、ナット、プレートを外してください。(Fig.13)
- 6) バルブアダプター組立にスパナを掛けねじ戻し外しますと、バルブシート・フートバルブ・遊動子を取出すことができます。(Fig.14)
- 7) 取出すのが困難な場合は、ロッドを引抜くことによりバルブシート・フートバルブ・遊動子を取出すことができます。
- 8) 各部品を洗浄・点検し、キズ・摩耗などがあれば新品と交換してください。
特に、バルブ組立のフィルターの目詰まりに注意してください。
- 9) 組立は、分解と逆の順序で行ってください。
このとき、バルブシート・フートバルブの向きに注意して組込んでください。

<NOTE>

- ・ エアシリンダーは、キズがつきやすいので絶対にバイスに固定しないでください。

Fig. 10

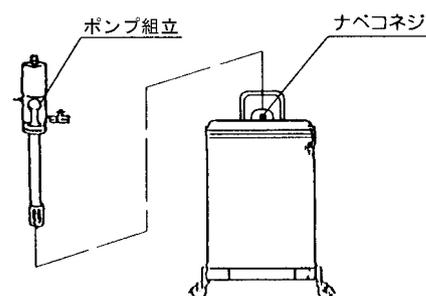


Fig. 11

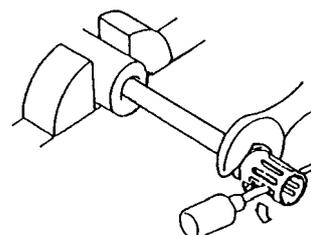


Fig. 12

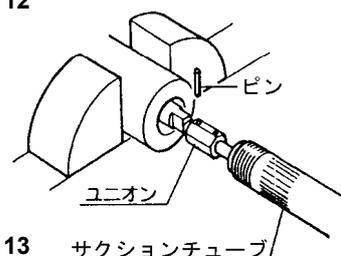


Fig. 13

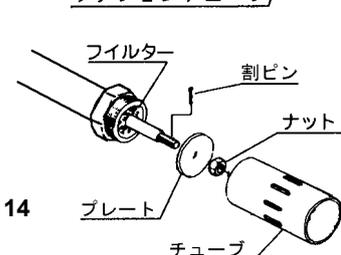
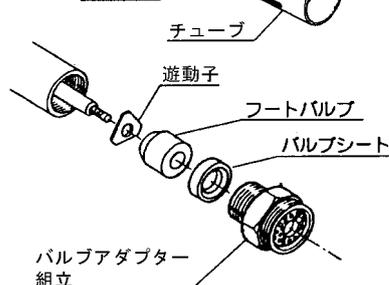
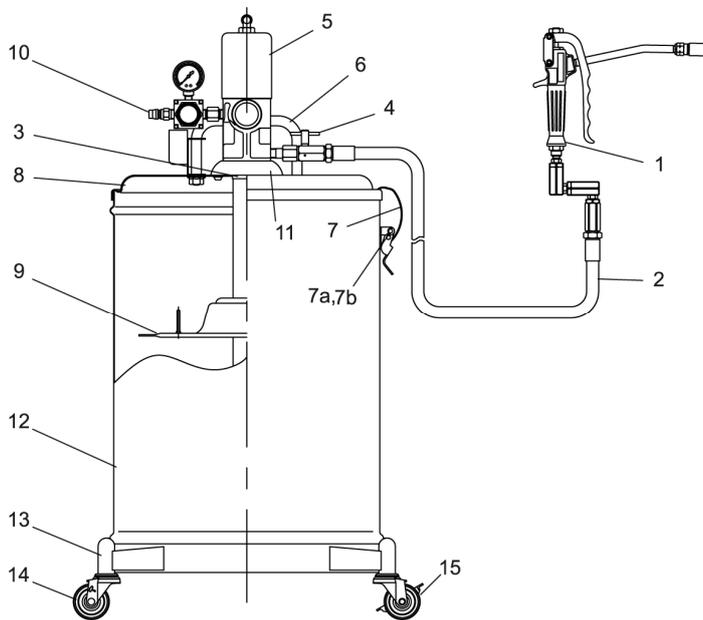


Fig. 14



5. 部品分解図・パーツリスト

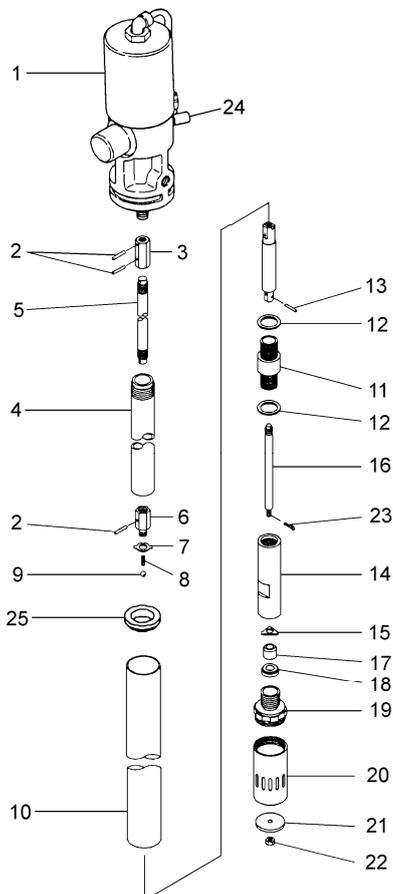
5.1 880877 SKR-66 構成図



・880877 SKR-66 パーツリスト

No.	部品番号	部品名称	員数
1	851985	高圧グリースガン	1
2	695034	高圧ホース	1
3	770754	ガン受け	1
4	800766	バルブキット	1
5	852764	ポンプ組立	1
6	705841	取手	1
7	830112	爪組立	3
7a	701747	ピン	3
7b	680710	スナップピン	3
8	707227	蓋	1
9	802161	フォロープレート	1
10	801241	エアレギュレーター	1
11	709000	本体受け	1
12	830964	油槽組立	1
13	830746	台枠組立	1
14	680136	キャスター	2
15	681767	キャスター(ブレーキ付)	2

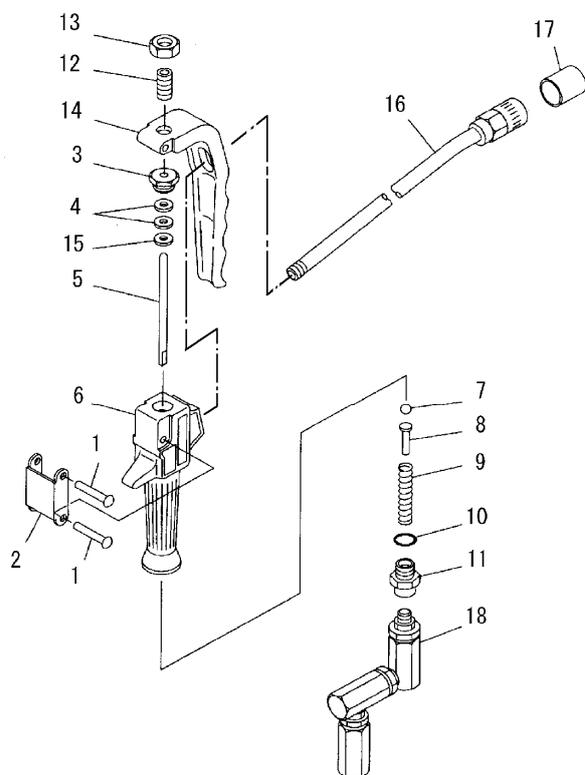
5.2 852764 ポンプ組立 分解図



・852764 ポンプ組立 パーツリスト

No.	部品番号	部品名称	員数
1	802630	エアモーター	1
2	702971	ピン	3
3	706091	ユニオン	1
4	709599	サクシオンチューブ	1
5	709598	ロッド	1
6	702975	ユニオン	1
7	702974	止座金	1
8	702976	スプリング	1
9	630313	ボール	1
10	709600	アウトチューブ	1
11	803355	シリンダー組立	1
12	702977	座金	2
13	632754	スプリングピン	1
14	706072	フットチューブ	1
15	702980	遊動子	1
16	706399	プランジャーロッド	1
17	771404	フットバルブ	1
18	702982	バルブシート	1
19	830407	バルブアダプター組立	1
20	702983	チューブ	1
21	702984	プレート	1
22	627010	ナット	1
23	632019	割ピン	1
24	681170	サイレンサー	1
25	770409	パッキン	1

5.3 851985 高圧グリースガン 分解図



・851985 高圧グリースガン パーツリスト

No.	部品番号	部品名称	員数
1	683201	リベット	2
2	711351	リンク	1
3	711444	止ナット	1
4	772160	パッキン	2
5	711357	ロッド	1
6	711352	ガン本体	1
7	630314	ボール	1
8	711445	スプリング受け	1
9	711446	スプリング	1
10	640011	Oリング	1
11	710971	ユニオン	1
12	711750	ボルト	1
13	627641	ナット	1
14	711354	レバー	1
15	713638	パッキン押さえ	1
16	804911	注油ノズル	1
17	685728	キャップ	1
18	802910	スィベルジョイント組立	1

★ No.1, 2, 6, 14は非分解です。

6. 仕様

■仕様

型式	SKR-66	
製品番号	880877	
ポンプレシオ(呼び)	55 x 1	
材料接続	吐出口	高圧グリースガン
エア接続	供給口	口金 (PS-20PM)
使用エア圧力範囲	0.2 ~ 0.7 MPa	
作動音	騒音レベル *1	86 dB
	音響パワーレベル *2	96 dB
使用環境温度範囲	気温	0 ~ 60 °C
	材料温度	0 ~ 80 °C
質量	17.6 kg	
付属品	851985 高圧グリースガン 695034 高圧ホース 800766 バルブキット 801241 エアレギュレーター(ゲージ付) 802161 フォロープレート	

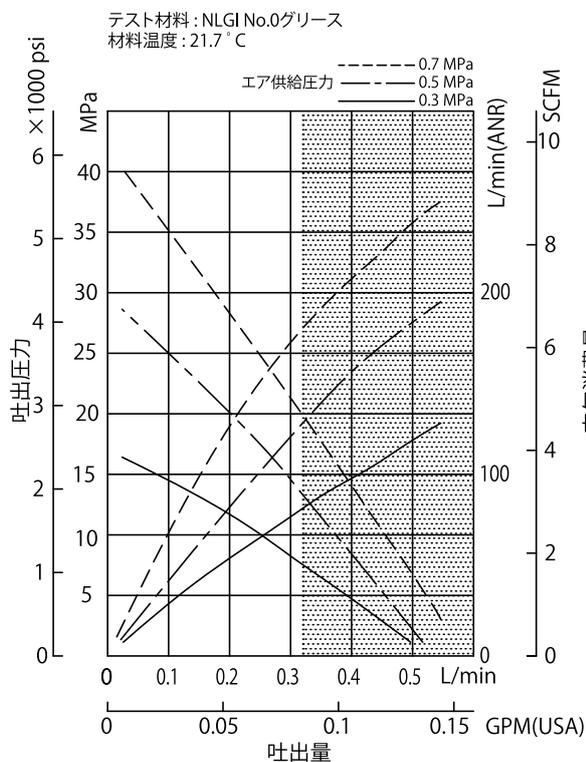
*1 測定方法は ISO 1996 に準じる。

*2 測定方法は ISO 3744 に準じる。

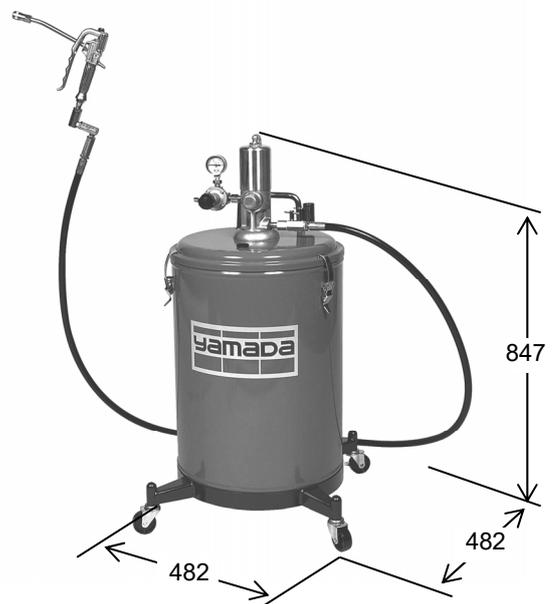
■パフォーマンスカーブ (ポンプ単体)

<NOTE>

ご希望の吐出量が右側の影の部分に入らなければ、ポンプの連続運転はおすすめできません。



■主要寸法



7. 製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。(フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。)

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____	ご所属 _____																													
フリガナ ご住所 _____ _____	ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. ガソリンスタンド</td> <td style="width: 33%;">2. 自動車整備業</td> <td style="width: 33%;">3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他 (詳しくご記入ください。 _____)</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他 (詳しくご記入ください。 _____)		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他 (詳しくご記入ください。 _____)																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名 (型式)																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報 は 当社の 個人保護方針 に 基づき 適切な 安全対策 のもと 管理し、お客様の 同意なく 第三者へ 開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

8. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用した場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202101.2523 900415